



日本遺産北総四都市江戸紀行「秋冬におすすめのお出かけ情報」!

城下町「佐倉」・門前町「成田」・商家の町「佐原(香取市)」・港町「銚子」の北総四都市は、利根川の水運と江戸に続く街道を利用して江戸のくらしや経済を支え、特色ある都市を発展させました。現代でも、江戸情緒あふれる町並みや風景を体感できます。

佐倉市「旧堀田邸」(国重要文化財・国名勝)

- 11月下旬～12月上旬にかけて紅葉が楽しめます!
- 令和8年2月11日(水・祝)には年に数回の「邸宅特別公開」を実施。普段は非公開の場所を見学できます!



旧堀田邸(国重要文化財・国名勝)

銚子市「ぬれ煎餅手焼き体験」(銚子電鉄ぬれ煎餅駅)

- 銚子の醤油を使ったぬれ煎餅を自分で焼いて食べることができます!
- 銚子は江戸時代から醤油作りが盛ん。市内の醤油工場を訪ねたり、醤油が味わえるグルメを探したりするのもおすすめです!



銚子電鉄ぬれ煎餅駅



ぬれ煎餅の手焼き体験



詳細については、「北総四都市江戸紀行HP」をご覧ください。▶▶▶



文化財課 ☎ 0120-23-1008

県立美術館 オランダ×千葉 撮る、物語る

ー サラ・ファン・ライ & ダヴィット・ファン・デル・レーウ × 清水裕貴

令和8(2026)年1月18日(日)まで開催中

オランダとの文化交流の一環として、オランダの新進気鋭の写真家、サラ・ファン・ライとダヴィット・ファン・デル・レーウの作品を日本で初めて紹介する特別展を開催しています。抽象的な構図、反射、影の使い方、独特のフレーミングなどを特徴とするストリートフォトが見どころです。

初の写真展として写真の歴史もご紹介

県立美術館初の写真展ともなる本展では、千葉ゆかりの古写真のコレクション(松戸市戸定歴史館)や千葉を拠点に活動する写真家、清水裕貴のアプローチを通して、江戸時代にまさにオランダを通じて日本にもたらされた写真術の黎明期に立ち返り、千葉にまつわる写真の歴史も併せて紹介します。



《2羽の鳩、ニューヨーク》2022年
©David van der Leeuw & Sarah van Rij

開館 9時～16時30分(入館は16時まで)

入場料 一般1,000円、高校生・大学生500円

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人無料

千葉県立美術館

千葉市中央区中央港1-10-1

TEL043-242-8311

